

第4回

会話の日本語訳

メイ: こんにちは! 私はメイ。君は?

ヴィクトル: 私はヴィクトル。どこ出身?

メイ: 日本出身。

ヴィクトル: ウクライナ出身。会えて嬉しいよ、メイ!

メイ: 私も会えて嬉しいよ!

(1) 日本

(2) ～出身

(3) 私も

(4) ここにリンゴが2個ある。

(5) 私のピザはどこ?

(6) 私は昼食にパンを食べる。

- ✓ 前置詞 **на** は、本文のように食事に適用したり、**грати** のあとに続けば楽器に適用したり、とすることができる。

第5回

(1) 私は野球をプレイしたい。

(2) 誰が牛乳を飲む?

(3) 私はスカートを着用することが好きだ。

(4) これは私の兄(年上の男兄弟)ではない。

- ✓ **старший** は **старий** の比較級。詳細は形容詞の回で説明する。

第5回(続き)

(5) Це не мій додаток.

(6) Ти любиш хліб?

(7) Вона їсть рибу?

(8) Зараз квітень.

✓ 日付が加わると形が変わるが、詳細は序数の回で説明する。

第6回

(1) 私は水を持っている。

(2) 私は彼女が好きだ。

(3) これは私のスカートではない。

(4) Цей обід коштує тридцять гривень.

✓ 「この～」と名詞を続ける場合、це は続ける名詞の性別に応じて形を変える。

(5) Він сорок чотири роки?

✓ 属格のテーマで取り上げたので安易に років と書いてしまうと不正解。44 は 5～20 以外かつ 1 の位が 4 なので複数形・主格をとる。

(6) Його тата звали Харумічі.